



国土交通省 北陸地方整備局

阿賀野川河川事務所

記者発表資料

令和7年9月24日
配布：新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

高校生と共働で河川環境の保全を目指します ～カニの捕獲作業～

阿賀野川河口部に生息するクロベンケイガニが、堤防に多くの巣穴を開け、堤防がダメージを受けていることが判明しました。

ダメージを受けた堤防の補修と巣穴対策工事のため、工事中のクロベンケイガニの生息場所が必要となったことから、新潟明訓高校の生物部の皆様のご協力のもと、クロベンケイガニ捕獲作業と飼育を開始します。

場 所： 新潟市東区松浜町 下山ポンプ場排水樋門堤防（阿賀野川左岸）
参加者： 新潟明訓高校 生物部員 約10名
日 程： 9月26日（金）14：00～ 概要説明、捕獲トラップ設置
9月27日（土）14：00～ 捕獲作業、飼育開始



堤防の巣穴に潜むクロベンケイガニ



巣穴が開いた堤防

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

管理課長 山崎 義彦（やまざき よしひこ）

〒956-0032 新潟市秋葉区南町14-28
電話 0250-23-4367（管理課ダイヤルイン）

HP <https://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>
X https://x.com/mlit_aganogawa

事務所HP



X





点検および現地の状況(巣穴から堤防内の土砂が流出)



巣穴の状況



巣穴がクロベンケイガニによることを確認

クロベンケイガニは主に河川の下流から河口域に生息する胴体幅40mm程度のカニです。阿賀野川では普通にみられますが近年、水質汚染・護岸や道路建設による生息場所分断化による減少が懸念されています。クロベンケイガニが生息できる阿賀野川の環境を今後も保全することが必要です。